

コウライトモエソウ

Hypericum ascyron L.
var. *longistylum* Maxim.

オトギリソウ科
Guttiferae

カテゴリー

大分県 IB
環境庁 IB

- 選定理由** | 本県の生育地は点在し、個体数は少ない。生育地の植生遷移や、土地開発などにより、絶滅の危険性が高い。
- 県内分布** | 玖珠丘陵地・山地，九重火山群，由布・鶴見火山群，(祖母・傾山地)
- 分布域** | 九州(熊本・大分・宮崎)
朝鮮半島，中国(東北部)，蒙古，アルタイ，ダフリア
- 生育環境** | 丘陵地や低山地の草原。
- 現 状** | 生育環境が改変され消滅した生育地がある。「祖母・傾山地」の標本はあるが、その生育地は把握されていない。
- 備 考** | 大陸系遺存植物。母種のトモエソウ (*H. ascyron*) を含む。

アゼオトギリ

Hypericum oliganthum
Franch. et Savat.

オトギリソウ科
Guttiferae

カテゴリー

大分県 情報不足
環境庁 IB

- 選定理由** |
- 県内分布** | (耶馬溪地区)，(九重火山群)
- 分布域** | 本州(関東地方以西)，四国，九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎)
- 生育環境** |
- 現 状** | 「耶馬溪地区」の文献記録，「九重火山群」の標本はあるが、その生育地は把握されていない。
- 備 考** | 文献 [木村陽二郎：日本産弟切草の記載 植物学雑誌 52 (1938)]

タカネオトギリ

Hypericum sikoku-montanum Makino

オトギリソウ科
Guttiferae

カテゴリー

大分県 IB
環境庁 掲載なし

- 選定理由** | 分布域は狭く、本県での生育地も局限され、個体数も極めて少ない。背丈が低く、他の植物に覆われて減少傾向にあり、人による採取もあって、絶滅の危険性が高い。
- 県内分布** | 九重火山群，由布・鶴見火山群，祖母・傾山地
- 分布域** | 四国，九州(大分)
- 生息環境** | 山地の草原や林縁。
- 現 状** | 日当たりのよい所に生育する。草丈が低いので、他の植物に被圧されて生育地、個体数ともに減少している。
- 備 考** | 国定公園指定植物 [祖母傾]